



タウンと

『交通安全功労者で表彰受ける』

5月22日、県庁で鹿児島県交通安全県民運動推進協議会の総会が開催され、西迫の宮内盛秋さん（82歳）が交通安全功労者の個人の部で表彰されました。

これは、多年にわたり鹿児島県における交通の安全と事故の防止に貢献した個人に贈られるもので、宮内さんは、昭和37年の運転免許取得当初から、交通安全活動に積極的に取り組み、街頭指導や高齢者の交通安全教育等の活動をはじめ、イベントなどの交通整理を積極的に行われました。

宮内さんは今回の受賞を、大いに喜んでいらっしゃいます。



『子ども会でリーダーを育成』

6月22日・23日の1泊2日の日程で、くいの松原キャンプ場などを利用して、大崎町子ども会リーダー研修が実施されました。

この研修は、規律ある集団活動の実践や体験・異年齢間の相互学習を通じて、積極的に活動できるリーダーの育成を図ることを目的に、毎年、実施されているもので、今年も町内の小学5・6年生と中学生、33人が参加しました。

今回の研修では、まず最初に、子ども達が2日間の活動内容をリーダーを中心に話し合っって計画し、それを実行に移す方法をとりました。子ども達はグループごとに分かれ、それぞれのリーダーに従いながら積極的に活動し、食事の準備や後片付けはもちろんのこと、海岸清掃や陶芸なども行い、充実した2日間を過ごしました。



『子ども放送局で大崎町が副会場に』

毎週土曜日、町立図書館が受信している子ども放送局で、5月25日、当館が全国の副会場として衛星放送で放映されました。

これは、文部科学省のエルネットというネットワークを使った衛星放送で、当館を含む全国の図書館や博物館など約6千か所に専用のチューナーが設置してあり、テレビ電話を使った番組になっています。

当日は、『不思議びっくり実験ランド』という番組の中で、町内の15人の小中学生が集まり、熱を利用したストローの温度計や、手で温めて回る風車を作るなど、様々な実験を行いました。

参加した子ども達は、初めてのテレビ電話での緊張よりも、科学実験の楽しさに目を輝かせていました。

今後も学校週5日制に伴い、子ども放送局で、様々な体験活動が放映される予定です。

